

2024 年度 春の研究集会  
日本雑草学会 学術研究部会

## 小規模農業における雑草の利用管理研究会

照葉樹林文化研究会・摘み菜を伝える会 共催

世話人 宮浦理恵 (東京農業大学)  
山口裕文 (大阪府立大学)

春の雑草が農耕地や道端に美しく花開く時期に、農と食をつなげる実践法を学び議論する会を開催致します。2020 年度のオンライン研究会で「雑草はごちそう」のご講演いただいた「摘み菜を伝える会」代表平谷けいこ氏による現場実践編です。東京農業大学世田谷キャンパス内圃場に生えている雑草の観察会および採集時の注意事項の解説、採集した雑草の調理と会食をした後、大阪府立大学名誉教授 山口裕文氏に「縄文時代の食用雑草」と題して雑草を食べる行為がわが国でいつから行われていたのかお話しいただきます。ふるってご参加ください。

なお、本研究会は、日本雑草学会の補助を受け開催します。日本雑草学会員に限らず一般の方も参加頂けますが、申込多数の場合、学会員を優先する場合があります。

日 時：2024 年 3 月 30 日(土)11~15 時 雨天決行

開催場所：東京農業大学 世田谷キャンパス 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

<https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>

集合場所：国際センター南側広場（正門側）雨天の場合は国際センター1 階階段付近

- 11:00~12:00 摘み菜<発見>：食と毒を判別 摘み菜を伝える会 平谷けいこ  
キャンパス内圃場の雑草の生態 東京農業大学 宮浦理恵
- 12:00~13:30 <美味を発創>：作って味わうランチタイム 平谷けいこ
- 13:30~14:10 講演「縄文時代の食用雑草」大阪府立大学名誉教授 山口裕文
- 14:10~15:00 各地の里から<摘み菜状況の発信>  
摘み菜体験の意見交換と総合質疑

定員：20 名程度（原則先着順）

参加費：大人(一般)3000 円、大人(学会員)2500 円、一家族 5000 円、  
大高生 1000 円、中小生 500 円

持ち物：セロテープ、筆記具、おむすび（自分の食べる分）、飲料水、汁椀、空の弁当箱、箸、  
タオル、ポリ袋 中 5 枚、防寒具（雨具）

申込み：以下のフォームにてお申し込みください。

【3 月 20 日申込締切（定員に達し次第受付終了）】

<https://forms.office.com/r/JgmAQV9XC5>



問合せ先 東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科 宮浦理恵 (mia[at]nodai.ac.jp)